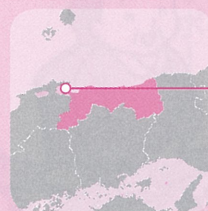




会員増強に若手委員の活用

鳥取県 境港市ことぶきクラブ連合会

- クラブ数 33クラブ
- 会員数 2649名(男性1050名、女性1599名)



鳥取県
境港市

高齢者が増えているのに老人クラブの会員は減少、わがクラブも同様です。対応策として若手会員の柔軟な思考を活用しようと、平成22年に「若手委員会」が設置されました。市連合会理事に1、2名の70歳前後の会員を指名してもらい、18名の委員で若手委員会を発足、委員長に故門協前会長が決まり活動を開始しました。

なお「ことぶきクラブ」の名は、翌年に門脇委員長が連合会長に就任した際、若手委員会に「若手高齢者が入りやすい興味を持つ名称を」と指示されて、会員に名称を募り「ことぶきクラブ」が採用されたものです。

若手委員会で多くの人が参加できる行事を計画

まず実施したことは、毎月の委員会で市連合会理事会決定事項を委員に周知して、クラブ活動の現状を認識したことです。次に、多くの人が集まりやすい行事を計画することでした。当時各地区でバラバラに実施されていたウォーキングを取り上げて、「市老連ウォーキング大会」を開催しました。コースは老若男女誰でも歩けるように2キロコースと5キロコースとして、市の広報に掲載して市民に呼び掛けたところ、子ども連れで参加され



健康ウォーキング大会

る方もいました。次世代につなげる貴重な方々です。この事業は現在も「健康ウォーキング大会」として続けており、昨年から終了後にビンゴゲームで親睦を図っています。その次に考えた行事は、グラウンド・ゴルフでは物足りず、現役時代にゴルフを経験し

ている人を標的に「ターゲット・バードゴルフ大会」を開催してみました。ゴルフの球にバドミントンの羽を付けて打つスポーツで、ルールはゴルフと似ています。最初に講習会を開いて、若手委員が体験してから大会を開催しました。初回20名ほどの参加者が現在では30名前後となり、参加者の中から数人がクラブに入会してくれました。

また、年1回は研修旅行を実施しています。他の老人クラブを訪れて意見討論会を行い、互いの良い点や問題点を議論することで解決策を探り、知識の向上を図っています。その他、若手委員会相互の親睦のために「サツマイモとソバの畑」を全員で耕作しています。ほとんどの委員が未経験でしたが、あれこれ騒いで作るのも楽しいものです。

若手委員から会長や委員長が誕生、各委員会にも若手を登用

これらの行事を経験することで若手委員の中から単位クラブ会長や連合会委員長が誕生、市連合会活動のけん引役として活躍すると共に、同年代の会員を増やすことが出来ています。

現在、5年計画で会員を増やす「各単位クラブ年次会員増強達成目標」を示すと共に、「年度毎の達成状況」を統計表にして各単位クラブ会長に渡して、増減に関わらず一層の努力をお願いしています。

市連合会には4校区内に33クラブあり、そこから選出された理事と、行事を立案実行する八つの委員会(総務・文化・広報・健康・女性・若手・旅行・傾聴)を設けて、各委員長が理事を兼ねています。これらの委員



専用のターゲット・バードゴルフ場

会にも若い世代を登用しています。

また、昨年から年2回の広報紙以外に、運動会・ニューススポーツ大会・作品展・文化祭・施設訪問・傾聴講演会等の実行した成果を会員および次世代にも見てもらいたい、ホームページを開設して広報活動の足しにしています。

これからも若手高齢者を活用して多彩な事業を計画、魅力あるクラブ活動で会員増強に努めていきます。

(会長・元若手委員長 川口昭二)